



平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月12日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	3,510	8.1	△243	—	△25	—	△25	—
23年4月期第1四半期	3,246	△9.0	△418	—	△405	—	△312	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	△5.35	—
23年4月期第1四半期	△65.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第1四半期	22,946	9,337	40.7
23年4月期	25,463	9,439	37.1

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 9,337百万円 23年4月期 9,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年4月期	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	5.5	△460	—	△470	—	△300	—	△62.44
通期	26,800	△0.9	940	△14.1	880	△20.5	470	0.9	97.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期1Q	5,075,500 株	23年4月期	5,075,500 株
24年4月期1Q	270,899 株	23年4月期	270,899 株
24年4月期1Q	4,804,601 株	23年4月期1Q	4,804,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 事業等のリスク	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年5月1日から平成23年7月31日まで)におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響による供給連鎖体制の寸断や原子力発電所の事故の影響から、生産活動の縮小、消費自粛、風評被害等に加え、円高の進行も重なり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、安全・安心かつ美味しさの追及に重点をおいた包装餅及び包装米飯の適正価格での健全な販売及び製品の安定供給に努めるとともに、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した販売企画等の各施策の推進に取り組んでまいりました。

また、節電に対応した生産体制による安定供給、シンチレーションサーバイメータ(放射性物質測定器)導入による品質の安全性確保、テレビCM製作や販売企画等の各施策の立案等、需要期に向けた体制整備に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は35億10百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加にともなう生産量の増加及び生産効率の改善等によるコスト低減によって売上総利益が増加(前年同期比1億83百万円増)したことに加え、営業外収益における受取手数料が増加したことから、営業損失は2億43百万円(同1億74百万円減)、経常損失は25百万円(同3億80百万円減)となりました。また、前年同期に比較し特別損失が55百万円減少した結果、四半期純損失は25百万円(同2億86百万円減)となりました。

当社は食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装餅製品につきましては、東日本大震災による消費者の食料品備蓄意識の高まりから、震災後の需要増の反動等もあり、当第1四半期累計期間の売上高は6億26百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

包装米飯製品につきましては、農林水産省が推進する東日本の被災地支援プロジェクトに賛同し、被災5県(岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県)のお米を原料に生産した「サトウの銀シャリ3食セット」と「サトウのこだわりコシヒカリ3食セット」に「がんばろう東日本!食べて応援しよう!」の応援シールを貼付し、全国へ出荷する企画の実施等もあり、売上高は28億81百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

その他製品の売上高は1百万円(前年同期売上高3百万円)となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期会計期間の売上高及び利益が他の四半期会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は134億8百万円となり、前事業年度末に比較し24億46百万円減少いたしました。

これは、商品及び製品(前事業年度末比15億84百万円増)並びに仕掛品(同2億13百万円増)は増加いたしました。受取手形及び売掛金(同25億69百万円減)並びに原材料及び貯蔵品(同16億5百万円減)の減少が主な要因となっております。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は95億37百万円となり、前事業年度末に比較し70百万円減少いたしました。

これは、減価償却の実施による有形固定資産(前事業年度末比56百万円減)の減少が主な要因となっております。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は112億68百万円となり、前事業年度末に比較し22億63百万円減少いたしました。

これは、支払手形及び買掛金(前事業年度末比3億38百万円増)は増加しましたが、短期借入金(同20億円減)及び法人税等の納税による未払法人税等(同2億31百万円減)の減少が主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は23億39百万円となり、前事業年度末に比較し1億52百万円減少いたしました。

これは、長期借入金(前事業年度末比1億41百万円減)の減少が主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は93億37百万円となり、前事業年度末に比較し1億1百万円減少いたしました。

これは、配当金の支払及び当第1四半期純損失による利益剰余金(前事業年度末比97百万円減)の減少が主な要因となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は前年同期を上回っておりますが、震災に由来する諸問題や天候などが消費動向及び原材料価格に与える影響等不透明な状況となっております。また、添付資料7ページ「4. 補足情報(1)事業等のリスク」に記載のとおり、特許侵害差止等請求事件では、平成23年9月7日に知財高等裁判所から中間判決の言い渡しがありましたが、この訴訟の結果を現時点において予測することができませんので、当社の業績に及ぼす影響額は不明であります。以上のことから、平成23年6月10日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,079,716	2,163,856
受取手形及び売掛金	5,556,722	2,987,057
商品及び製品	999,216	2,583,442
仕掛品	322,934	536,839
原材料及び貯蔵品	6,526,063	4,920,504
その他	376,197	219,707
貸倒引当金	△5,300	△2,700
流動資産合計	15,855,551	13,408,708
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,198,774	2,170,189
機械及び装置(純額)	2,431,118	2,368,068
土地	1,821,489	1,821,489
その他(純額)	235,892	270,765
有形固定資産合計	6,687,274	6,630,511
無形固定資産	26,773	25,300
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,003,383	2,000,246
その他	915,998	906,862
貸倒引当金	△25,270	△25,270
投資その他の資産合計	2,894,112	2,881,839
固定資産合計	9,608,160	9,537,651
資産合計	25,463,711	22,946,360

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169,230	1,508,044
短期借入金	9,450,000	7,450,000
未払法人税等	237,000	5,305
引当金	274,254	170,109
その他	2,402,312	2,135,503
流動負債合計	13,532,797	11,268,962
固定負債		
長期借入金	1,742,260	1,600,370
退職給付引当金	476,238	470,700
引当金	70,320	71,483
その他	202,900	197,138
固定負債合計	2,491,719	2,339,692
負債合計	16,024,517	13,608,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	8,604,173	8,506,384
自己株式	△305,467	△305,467
株主資本合計	9,348,480	9,250,691
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,713	87,015
評価・換算差額等合計	90,713	87,015
純資産合計	9,439,194	9,337,706
負債純資産合計	25,463,711	22,946,360

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	3,246,990	3,510,409
売上原価	2,329,232	2,408,847
売上総利益	917,757	1,101,562
販売費及び一般管理費	1,335,931	1,345,364
営業損失(△)	△418,173	△243,802
営業外収益		
受取利息	758	248
受取配当金	1,173	2,840
受取手数料	5,506	231,963
その他	80,351	58,725
営業外収益合計	87,789	293,777
営業外費用		
支払利息	39,244	39,988
貸貸費用	26,553	26,148
その他	9,758	9,191
営業外費用合計	75,556	75,328
経常損失(△)	△405,940	△25,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,200	—
特別利益合計	1,200	—
特別損失		
固定資産除却損	3,817	—
投資有価証券評価損	—	706
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,420	—
特別損失合計	56,237	706
税引前四半期純損失(△)	△460,977	△26,060
法人税、住民税及び事業税	1,871	1,134
法人税等調整額	△150,418	△1,474
法人税等合計	△148,547	△340
四半期純損失(△)	△312,430	△25,720

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業等のリスク

前事業年度の決算短信に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更は以下のとおりであります。

訴訟事件等について

当社が製造・販売する切り込み入り切り餅において、越後製菓株式会社(以下「控訴人」という)所有の特許権を侵害するものとし、控訴人より平成21年3月11日付で東京地方裁判所へ、当該製品の製造・販売等差止め請求、及び14億85百万円の損害賠償を求める訴えがなされましたが、平成22年11月30日に同裁判所は控訴人の請求をいずれも棄却する判決を下しました。

これに対し、控訴人から平成22年12月13日付で知財高等裁判所へ同判決を不服とした控訴の提起があったため、当社は第一審に引き続き、一貫して当社製品は控訴人の特許を侵害するものではないと主張して参りましたが、平成23年9月7日に同裁判所から、当社の製品は控訴人の特許を侵害し、控訴人の特許は無効とできないという中間判決の言い渡しがありました。

当社はこの判決に対して現時点でも控訴人の特許を侵害するものではないと考えておりますので、今後も知財高裁で続く損害論の審理において、その先の最高裁への上告も視野に入れ争って参ります。

なお、本訴訟の結果を現時点において予測することができませんので、当社の業績に及ぼす影響額は不明であります。